

卒業式 ～生徒たちの大舞台～

校長 高橋 馨

満開の梅の枝で、メジロが忙しそうに花をついばんでいます。3月、卒業の季節です。3月14日(金)に分教室2名、そして19日(水)には本校の43名が卒業を迎えます。卒業式では壇上・舞台上で一人一人に卒業証書を手渡します。分教室は八丈高校の視聴覚ホールで、本校は昭和女子大グリーンホールで行います。表題の『大舞台』の読み方ですが、調べると「おおぶたい」と「だいぶたい」の二つの読み方があることがわかります。もともと古典芸能で使われた言葉で「おおぶたい」と読みますが、昭和から平成に替わる頃、スポーツなどで「活躍の場」を意味する比喩的な表現として「だいぶたい」が使われるようになり、定着したようです。そうした経緯から、「おおぶたい」は大きく立派な舞台、「だいぶたい」は晴れの場所(活躍の場所)として、使い分けることもあるようです。

さて卒業式ですが、子供たちにとっては両方の意味を含む大舞台となります。卒業生一人一人が、自身の成長を実感する人生の節目として、成人として次の舞台へ新たな歩み始める、そういった日だと考えています。そのような記憶に残る日となるよう、卒業式までの一日一日を、在校生を含めた学校全体で準備してまいります。式当日、学校が生徒たちの笑顔で満開となりますよう、引き続きよろしく願いいたします。



昭和女子大グリーンホール

【本校】ボッチャ交流会

下馬二丁目北町会の皆さん、テンプル大学の学生さんをお招きしてボッチャ交流会を実施しました。東京パラリンピックボッチャ日本代表監督村上さんと世田谷区スポーツ振興財団の皆さんにご指導いただきました。教えてもらった英語と一緒に声援するなどゲームを通して自然に交流が生まれて盛り上がり、「楽しかった!」「また来ます」と言っていただきました。(ハ巻素子)



【八丈分教室】修学旅行

1月29日(水)から2月1日(土)まで沖縄へ修学旅行に行ってきました。美ら海水族館では海の生き物に触れ、ひめゆりの塔や平和祈念公園、首里城では歴史を学びました。また、サンゴ染め体験では、オリジナルのトートバッグを作成し、沖縄の魅力を存分に味わい、充実した時間を過ごすことができました。

(向山琢斗)

